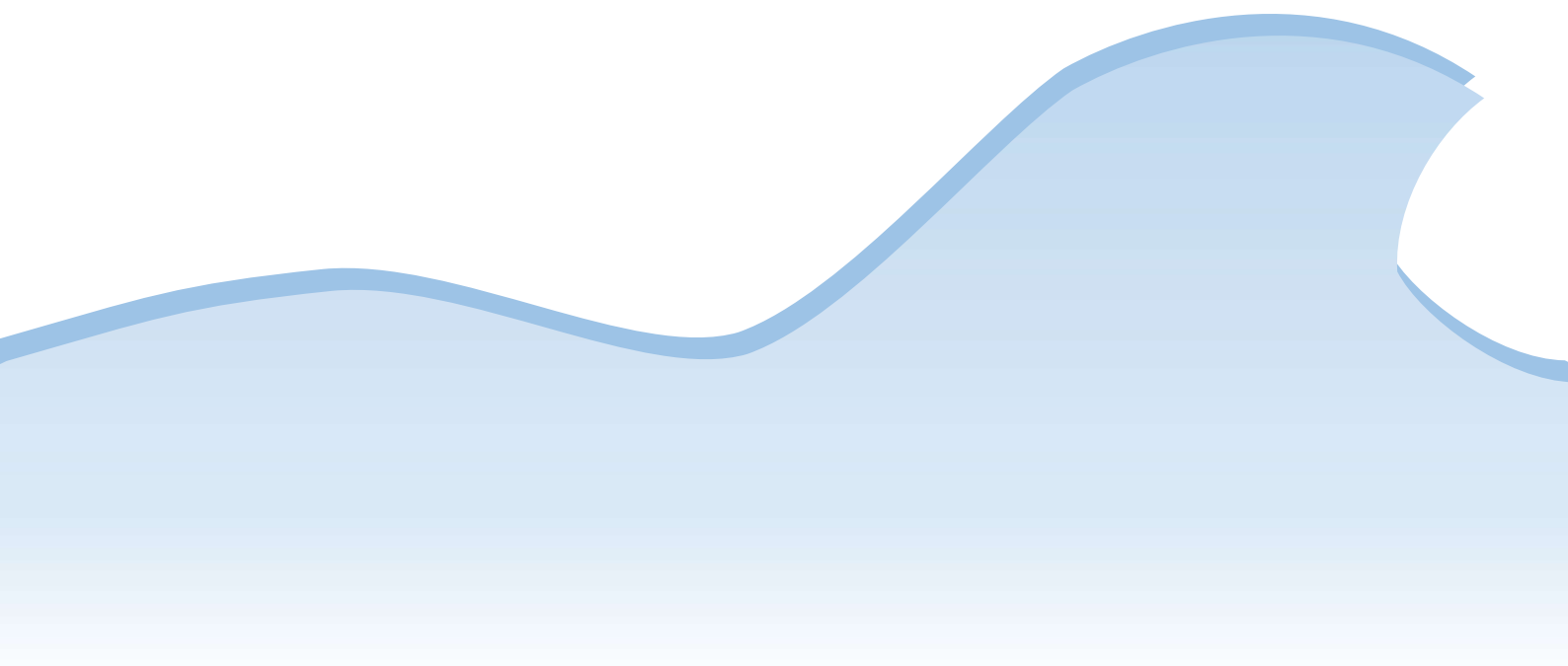


津波災害警戒区域指定に関するよくある質問



島 根 県
Shimane Prefecture Government

索引

Q.1	津波防災地域づくりに関する法律とは？	3
Q.2	最大クラスの津波とは？	3
Q.3	津波浸水想定とは？	3
Q.4	津波災害警戒区域・イエローゾーンとは？	3
Q.5	イエローゾーンに指定されると何が行われるのか？	4
Q.6	基準水位とは？	4
Q.7	建物がいないところの基準水位とは？	5
Q.8	イエローゾーンはどのように設定されるのか？	5
Q.9	イエローゾーンはどこで確認できるのか？	5
Q.10	津波災害警戒区域図とハザードマップはなにが違うのか？	5
Q.11	住民にメリットはあるのか？	5
Q.12	イエローゾーンに指定されると規制はあるのか？	5
Q.13	イエローゾーンの指定により風評被害の懸念があるのでは？	6
Q.14	イエローゾーン外の地域は安全ということか？	6
Q.15	イエローゾーンの指定は変更や解除されるのか？	6
Q.16	津波によりどのような影響が想定されるのか？	6
Q.17	津波災害特別警戒区域（オレンジゾーン・レッドゾーン）とは？	6
Q.18	オレンジゾーン・レッドゾーンはいつ頃指定するのか？	7

Q.1 津波防災地域づくりに関する法律とは？

東日本大震災の甚大な津波被害を教訓に、最大クラスの津波から「なんとしても人命を守る」という考えのもと、ハード・ソフトの施策を総合的に組み合わせた「多重防御」の発想により津波防災を推進することを目的として、平成 23 年 12 月に施行された法律です。

この法律には、「津波浸水想定公表」や「津波災害警戒区域の指定」など、津波防災を進めるための様々な取組が規定されています。

法律の施行
H23.12.

津波浸水想定公表（県）
H29.3.

津波災害警戒区域
の指定（県）

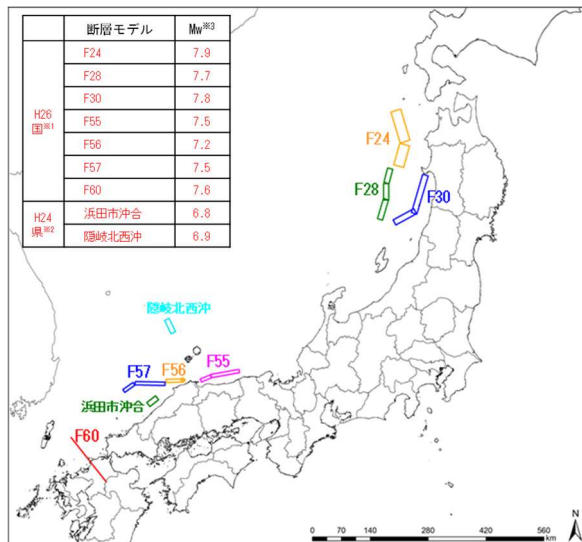
津波防災
の推進

Q.2 最大クラスの津波とは？

発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波です。現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、住民避難を柱とした総合的防災対策を構築する上で対象とする津波です。

島根県で想定している断層は右図に示す 9 つで、これらが悪条件下で起こす津波を最大クラス津波としています。

- ※1：「日本海における大規模地震に関する調査検討会（平成 26 年 9 月）」において公表した断層のうち島根県に影響の大きい 7 つの想定断層
- ※2：「島根県地震被害想定調査 報告書（平成 24 年 6 月）」による想定断層のうち、沿岸近くの短い断層として「浜田市沖合」と「隠岐北西沖」の 2 つの想定断層
- ※3：Mw はモーメントマグニチュードであり、地震の規模を表す指標



Q.3 津波浸水想定とは？

最大クラスの津波が発生した場合に想定される最大の浸水区域と浸水深を、県知事が設定・公表するものです。津波による浸水の危険度を広くお知らせするもので、津波防災地域づくりに関する各種取組の基礎となる情報です。島根県では平成 29 年 3 月に公表しており、県の Web サイトで確認できます。

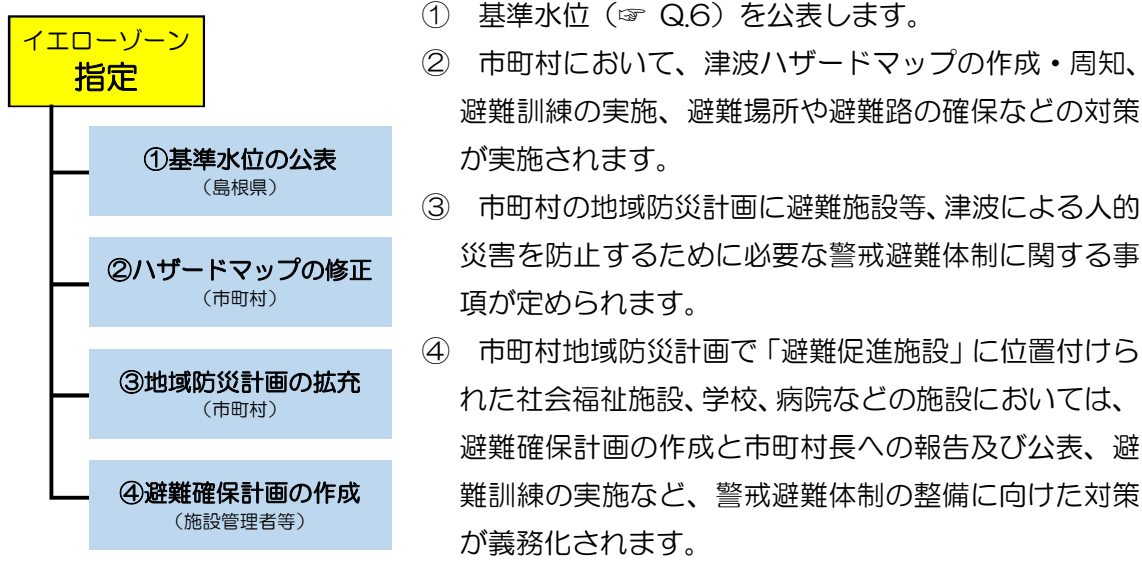
島根 津波浸水想定

Q.4 津波災害警戒区域・イエローゾーンとは？

最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがある区域で、県知事が指定するものです。津波による人的被害を防止するため、津波から「逃げる」ことができるよう、警戒避難体制を特に整備すべき区域です。



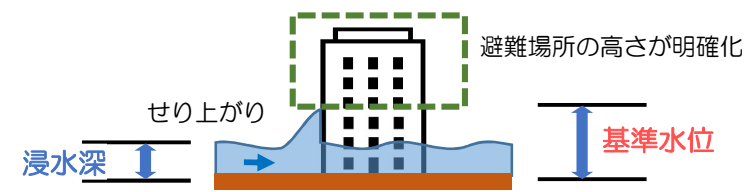
Q.5 イエローゾーンに指定されると何が行われるのか？



Q.6 基準水位とは？

基準水位は、津波浸水想定での浸水深に、津波が建物等に衝突した際のせり上がりの高さを加えた水位で、津波に対して安全な高さを示しています。指定避難施設の指定や津波災害特別警戒区域(オレンジゾーン・レッドゾーン)(☞ Q.17)における建築等の基準として用いられます。

基準水位は津波浸水想定における浸水深と同様、地盤面からの高さ(水深)で表示します。



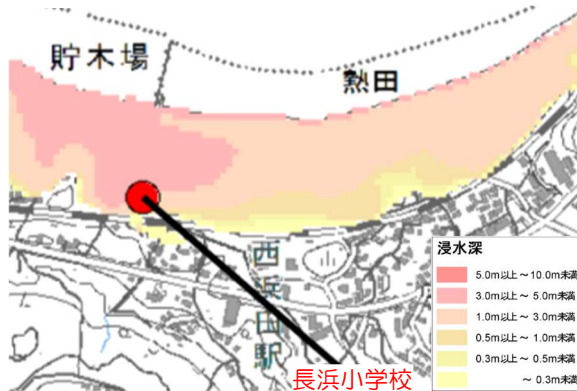
Q.7 建物がないところの基準水位とは？

基準水位（☞ Q.6）は、10 m 四方のメッシュごとに建物があると仮定して、津波の流速と浸水深から計算をしています。このことから、建物がないところでは、将来建物を建てた場合に基準水位まで津波がせり上がることを表しています。

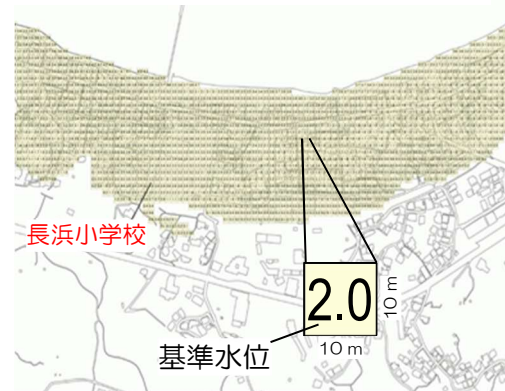
Q.8 イエローゾーンはどのように設定されるのか？

最大クラスの津波による「津波浸水想定」（☞ Q.3）と同じ範囲をイエローゾーンとして指定します。「津波浸水想定」では浸水深を、イエローゾーンでは基準水位を表示しています。

○津波浸水想定 の例



○津波災害警戒区域（イエローゾーン） の例



Q.9 イエローゾーンはどこで確認できるのか？

島根県の Web サイトで津波災害警戒区域図を公表しますので、そちらで確認できます。また、マップ on しまねでも指定範囲及び基準水位を公表する予定です。

Q.10 津波災害警戒区域図とハザードマップはなにが違うのか？

津波災害警戒区域図は、区域の範囲と各地点の基準水位を地図上に示しています。

各市町村のハザードマップは、これを踏まえ、視覚的にわかりやすくし、避難の方向や避難場所の位置など、避難の際に役立つ実情に合った情報を網羅しています。

Q.11 住民にメリットはあるのか？

区域指定により、基準水位を踏まえた効率的な避難場所の確保やハザードマップの公表、避難確保計画の作成等が進み（☞ Q.5）、津波からより確実に「逃げる」体制が整備されるため、人的被害が軽減されます。

Q.12 イエローゾーンに指定されると規制はあるのか？

建物の建築やそれに伴う土地の形質変更が制限されることはありません。ただし、土地の

売買を行う場合は、宅地建物取引業法に基づく重要事項説明の対象となります。

Q.13 イエローゾーンの指定により風評被害の懸念があるのでは？

最大クラスの津波が発生した場合の浸水の危険性に関しては、既に津波浸水想定(☞ Q.3)を公表し、県民の皆様に対して浸水区域や浸水深について情報提供しています。

また、指定により地価が下がったという他県事例は聞いていません。

Q.14 イエローゾーン外の地域は安全ということか？

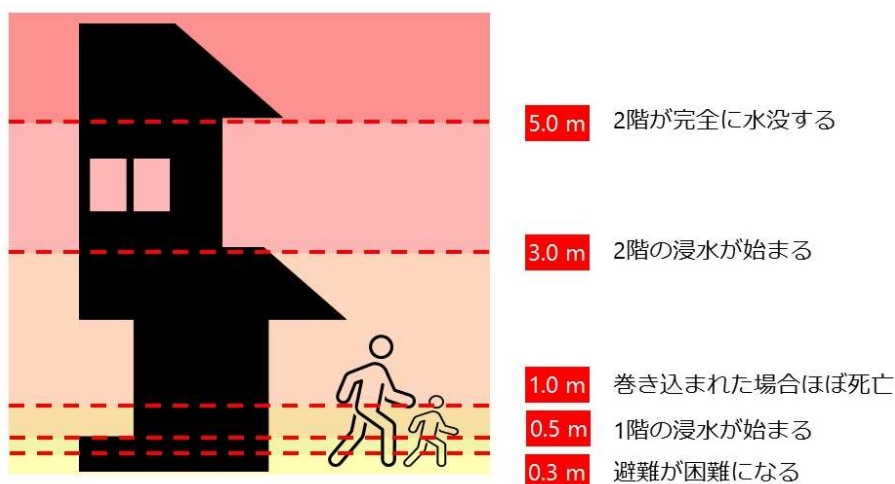
最大クラスの津波は、現在の科学的知見に基づき設定した(☞ Q.2)ものですが、これよりも大きな津波が発生する可能性が無いとはいえません。このため、指定されていない地域が必ずしも安全とはいえませんので、ハザードマップや避難場所の確認等を行うようにしてください。

Q.15 イエローゾーンの指定は変更や解除されるのか？

断層モデルの新たな知見、地形的条件の変化、防潮堤や津波防護施設の整備等により津波浸水想定(☞ Q.3)が変更となった場合、イエローゾーンについても見直しを行うことがあります。

Q.16 津波によりどのような影響が想定されるのか？

東日本大震災後の津波被害調査では、浸水深が2.0 mを超えると建物の約6割以上が全壊しています。わずか30 cmの津波であっても歩行困難となるため、早めの避難を心掛ける必要があります。

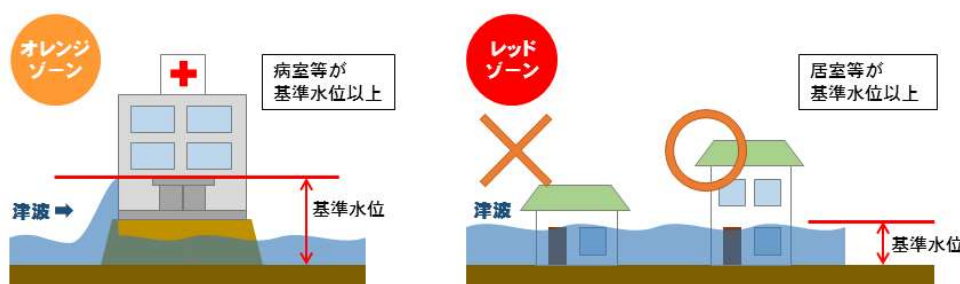


Q.17 津波災害特別警戒区域（オレンジゾーン・レッドゾーン）とは？

① 津波災害特別警戒区域（オレンジゾーン）は、最大クラスの津波が発生した場合に、建

建築物が損壊又は浸水し、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域で、県知事が指定するものです。特に防災上の配慮を要する方々が利用する社会福祉施設、学校、医療施設の建築と、そのための土地の形質変更に関して、居室の床面の高さや構造等を津波に対して安全なものになるよう制限がかかります。

- ② 津波災害特別警戒区域（レッドゾーン）は、オレンジゾーンのうち、特に迅速な避難が困難な区域で、市町村の条例で指定するものです。住宅など市町村の条例で定める用途の建築と、そのための土地の形質変更に関して、①と同様の制限がかかります。



Q.18 オレンジゾーン・レッドゾーンはいつ頃指定するのか？

津波災害特別警戒区域の指定については、市町村における津波災害に対する防災・減災に向けた「まちづくりの方針」を踏まえて検討する必要があることから、今後、市町村と協議します。

津波災害警戒区域指定に関するよくある質問

2022年12月6日 初版 発行

お問合せ先

島根県土木部河川課企画調査グループ

tel : 0852-22-6747

〒690-8501 島根県松江市殿町8